

農林水産業を支える技術開発

本県の農林水産業の基本計画に即して、市場性の高いオリジナル品目の開発や大きな生産振興につながる次世代生産技術の開発、現場課題を解決するための技術開発を進めています。

また、技術の早期普及や利用拡大を図るため、試験研究機関と普及機関との連携強化や県民への研究成果の発信、企業との共同研究に努めています。

水田部門

競争力のあるブランド作りと生産コストの低減のため、水稻新品種の開発、基幹作物である米や麦、そば等の高品質安定生産技術の確立に取り組んでいます。

- 新品種の開発（米、酒米）
- ICTを活用した圃場管理技術の開発
- 生き物・環境にやさしい水稻栽培技術の開発



ポストこしひかりの開発（食味官能試験）

園芸部門

競争力のある園芸品目の導入や園芸の産地化を進めるため、果樹や野菜、花きの新品種の開発、高品質安定生産技術の確立に取り組んでいます。

- 新品種の開発（ミディトマト・ブドウ・キク）
- ICTを活用した次世代生産技術の開発
（ミディトマト・パプリカ・イチゴ）
- 水田を活用した省力果樹栽培技術の開発
（モモ・スモモ・ブドウ）



スペシャルミディトマトの新品種育成

畜産部門

畜産物の競争力向上のため、新ブランドの開発、高品質で低コストな飼育管理技術の確立に取り組んでいます。

- スペシャル若狭牛、新ふくいポーク、新越前地鶏の開発
- 酪農の低コスト化技術の開発

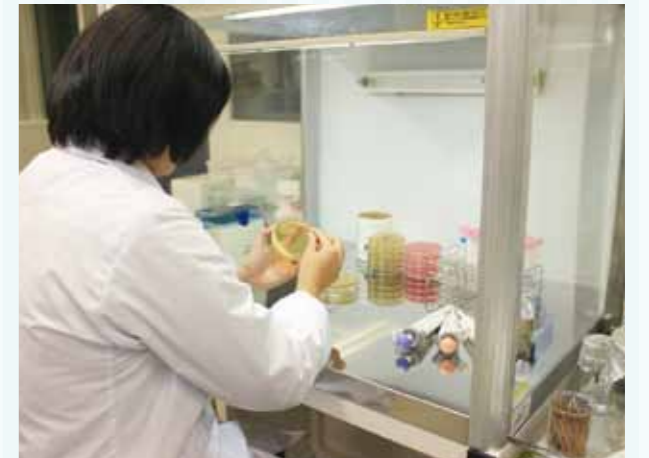


新ふくいポーク（候補豚）：L B D種
♀：L B種 × ♂：デュロック種（D）

食品部門

バイオテクノロジー等の技術を活用した加工品の開発や食品の機能性解明に取り組んでいます。

- オリジナル酒酵母を活用した日本酒の開発
- 乳酸発酵食品の開発（サトイモ）
- 機能性成分の抽出技術と活用技術の開発（ソバ）



オリジナル酒酵母の育成

林業部門

森づくりや森林保護、県産材利用拡大のための技術確立、特用林産物の増産技術開発に取り組んでいます。

- 木質バイオマスの安定供給システムの構築
- シカ被害を防ぐ技術の開発
- 大径材の生産・利用拡大技術の開発
- きのこの増産技術の開発



サマツの増産技術開発

水産業部門

水産資源の増大、効率的な操業技術の開発、新しい養殖技術の確立に取り組んでいます。

- 越前がにの好漁場造成技術の開発
- サクラマス（九頭竜川産）の増殖技術の開発
- 定置網に入った魚の量や大きさを把握するシステムの開発
- 新しい養殖魚の飼育技術の開発（マハタ）



越前がにの資源量調査